

図3 1-b(R)のスケール依存性. 直線は(4)式の関係を表している. 右端の値はスケールファクターである.

参考文献

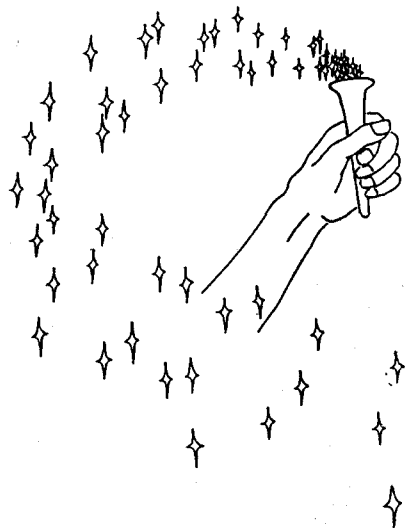
1) Y. Suto, M. Itoh and S. Inagaki, 1990, *Astrophys. J.*, **350**, 429.  
 2) H. Totuji and T. Kihara, 1969, *Publ. Astron. Soc. Japan*, **21**, 221.  
 3) W. C. Saslaw and A. J. S. Hamilton, 1984, *Astrophys. J.*, **276**, 13.  
 4) P. Crane and W. C. Saslaw, 1986, *Astrophys. J.*, **301**, 1.  
 M. Itoh, S. Inagaki and W. C. Saslaw, 1988, *Astrophys. J.*, **331**, 45.  
 M. Itoh, S. Inagaki and W. C. Saslaw, 1990, *Astrophys. J.*, June 20.

学会だより

研究奨励賞メダルデザインについて

本誌、昨年8月号で、日本天文学会研究奨励賞メダルのデザインを募集しましたところ、12名17件の応募がありました。秋・春の年会会場などで全作品を展示し、折りにふれ作品についてのご意見などを聞き、「若さ」、「未来への発展性」などのテーマをもとに理事会で検討した結果、本会々員の杵鞭充千男（きねむちみちお）氏の作品を基本デザインとして採用しました。関係各位のご協力をお礼申し上げます。

今回応募された方々は長谷川一郎、古谷賢一、梅村雅之、半田利弘、片見宗吾、花村壺沙貴、藤本剛二、織田智則、杵鞭充千男、土田嘉直、萩町洋一、福長明子（到着順）の各氏でした。



図はメダルの基本デザインとして採用したもの